

第1学年 国語科学習指導案（略案）

日 時 令和5年10月25日（水）
 生 徒 宮古市立花輪中学校 1年A組 11名
 指導者 田之岡 悠希

1 単元名 漢文に出会い、触れ合い、紹介し合う～故事成語は「今に生きる」言葉なのか～

学習材名 矛盾「韓非子」より（東京書籍 新しい国語1）

2 単元の目標

（1）音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。

〔知識及び技能〕（3）ア

（2）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）オ

（3）言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 本単元における言語活動

故事を記した漢文や故事成語を使った文章に触れ、考えたことを伝え合う。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C（2）イ）

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 （（1）ア）	①文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。（C（1）オ）	① 粘り強く故事成語を使った文章や漢文を読み、学習課題に沿って、自分の考えを伝え合おうとしている。

5 指導と評価の計画（全3時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法等
1	○単元の見通しを持つ。 ○「矛盾」の言葉の意味と、現代語訳の内容を確認する。 ○他にも「矛盾」のような成り立ちをもつ「故事成語」があることを確認する。 ○本単元の課題『「故事成語」は今に生きる言葉なのか』を共有する。 ○「矛盾」が新聞記事でどのように使われているのかを知る。 ○自分が検討する故事成語を決める。	・「矛盾」の現代語訳のみに触れる。 ・生徒の知っている故事成語「推敲」「矛盾」「漁夫の利」を取り上げる。	
家庭学習	自分が検討する故事成語が使われた記事を「+日報」を使い、検索してくる。		
	検討する故事成語リスト ・漁夫の利 推敲 杞憂 蛇足 背水の陣 五十歩百歩 助長 （モデルとして矛盾）		

2 本時	○自分が検討する故事成語が使われた「+日報」の記事を読み、どのように使われているか読み取る。 ○自分の故事成語が使われた記事の内容について、グループで紹介する。 ○自分の生活の中にも自分の故事成語を使った状況があるか考える。 ○『『故事成語』は今に生きる言葉なのか』について、自分の考えをもつ。(中間報告)	・机間指導と、仲間同士で相談する環境を整え、記事の理解の助けとする。 ・ロイロノート提出箱に提出し、考えを共有できるようにする。 ・複数の故事成語に触れられるよう、グループを編成する。	〔主体的に学習に取り組む態度〕① <u>観察・ワークシート</u> ・ここでは、粘り強く記事の内容を読み取り、自分の考えを伝えようとしているか確認する。
3	○紀元前の漢文を今につないだ「訓読」について知る。 ○「矛盾」の書き下し文を音読し、漢文のリズムに慣れる。	・ロイロノートで提出した故事成語「矛盾」の学習シートを印刷して使用する。	〔知識・技能〕① <u>ワークシート</u> ・ここでは、訓読のきまりを知り、訓読文を書き下し文にしたり、漢文を音読したりすることができているか確認する。
4	○自分が検討した故事成語の故事の訓読文を読んでもみる。 ○『『故事成語』今に生きる言葉なのか』について、自分の考えをもつ。(最終報告) ○単元の振り返り	・今回習得した訓読のきまりの範囲で訓読できそうなものをピックアップして訓読に挑戦させる。	〔思考・判断・表現〕① <u>ワークシート(ロイロ)</u> ・ここでは、故事成語を使った文章や、漢文を読んだことを踏まえ、自分の考えを確かなものになっているか確認する。

6 本時の指導 (2 / 4)

(1) 目標

粘り強く記事の内容を読み取り、故事成語が記事の中でどのように使われているか、自分の考えを伝えようとすることができる。

(2) 評価規準

B (おおむね満足できる) と判断できる状況	C (支援を要する) 状況への手立て
・自分の担当する言葉が、記事の中のどのような状況を表すものとして使われているかを、粘り強く読んだり相談したりしながら、具体的にプリントに記述している。 ・自分の記事の内容を大まかに説明し、どんな状況で故事成語が使われているかを伝えようとしている。	・記事の読解が難しい生徒には、故事成語以外の言葉の意味を調べさせたり、教えたりすることで、記事の読解を助ける。 ・自分と同じ故事成語を担当する生徒と教え合えるようにする。 ・「矛盾」の記事で教師がモデルを示し、記述の仕方や、グループでの交流の仕方が分かりやすくなるようにする。

(3) 展開

段階	学習活動	指導と評価の留意点
導入 5分	1. 前時までの学習を振り返る。 ・故事成語とはどのようなものだったか。 ・単元の問い「故事成語は今に生きる言葉なのか」を確認する。 ・新聞記事を通して、現代社会での故事成語の使われ方を検証する活動 2. 学習課題を確認する。	・前時取り扱った「矛盾」を使って本時の活動のモデルを示す。 ・学習プリントで、学習活動の流れを示す。

学習課題 「故事成語」はどのように使われているか検討し、紹介しよう。

展開 40分	3. 自分が担当する故事成語が使われた記事を読み、どのような事柄や状況にその言葉が使われているのかをロイロノートに記述する。 4. グループで、自分の記事で故事成語がどのように使われていたかを紹介し合う。 ①自分の故事成語&意味 ②どんな記事かざっくり説明 (イスラエルで戦闘が開始して、自衛隊が日本人を助けにいった記事なんだけど～) ③故事成語が使われているところと、その意味(書いたこと)を説明 (下のほうに「矛盾を捉え」ってあるんだけど、これは、政府が矛盾してるって話です。政府は自衛隊を積極的に派遣しようとするのに、実際は自衛隊の人数は足りていないってことが矛盾の意味です。) 5. 複数の故事成語の使われ方を聞き、「故事成語は今に生きる言葉なのか」についての現時点での自分の考えを記述する。	〔主体的に学習に取り組む態度〕① <u>観察・ワークシート</u> ・ここでは、粘り強く記事の内容を読み取り、自分の考えを伝えようとしているか確認する。
終末 5分	6. 現時点での、「故事成語は今に生きる言葉なのか」についての考えを数名紹介し、共有する。 7. 次時から故事のもとになった漢文の読み方を知り、音読していくことを確認する。	

○「+日報」の機能で活用してみたかったこと

①検索機能

同じテーマの記事を検索して、意見文のモデルにしたり、データや専門家の主張を自分の考えの根拠としたりして、引用することに挑戦したかった…がそこまでの活用には届かず、今回はある言葉がどのように使われているかを検索する活用方法となった。今回の単元で、生徒は、自分で検索年代幅を調整したり、検索ワードを変えて何度か検索したりすることに慣れてきた。教室で一斉に長い年代の検索を行うと結構タイムアウトエラーになってしまう。ゆっくり検索したい生徒もいたようで、家庭学習でも取り組んでみてよいことにした。

②ダウンロード機能

選んだ記事がダウンロードでき、上記のような引用や、本単元のように、シートに貼りつけ書き込みをして(加工をして)仲間と共有する、自分の学習材とすることが容易である。(紙面では、このような使い方には手間がだいぶかかる)本単元では、このシートをA3で印刷し、そこに次時以降、訓読文を書き込んでいく予定。

○単元の構成、国語の授業としてねらったこと

・これまでの「矛盾」の授業では、漢文としての「矛盾」を扱ったあと、その他の故事成語について学習材を広げていくことが多かった(教科書の扱いもそのようになっていることが多い)。自分の生活の中で使えるようなエピソードや、これまでの経験をスピーチしたり、紹介文や四コマで表現したりする言語活動が多かった。中学生同士の自分の生活スタートだと、実際にその言葉が使われている状況を目の当たりにしておらず、「こんなときに使うのかな～」という身近で楽しい活動である一方で、本当にその状況で今後生徒が使うのかが疑問である。また、「弟の言っていることがおかしいときに矛盾を使えそう」や、「弟の話は矛盾だ」など、使う場面の具体性のなさや、細かい使い方のミスなども散見された。学習者が知っていた故事成語は「矛盾」「漁夫の利」。「推敲」は聞いたことある、程度である。

辞書に載っている例文や、用法は短文で、「矛盾」を表す大きな状況を記してはいない。今回新聞記事の言葉を学習材としたことで、言葉を一つの現実の状況と一体的に習得させる語彙指導ができると考えた。(が、実際には記事によっては、記事自体の読解が中1には難解なものもあり、授業者が精査してもよかったように感じる。)新しく知った言葉を通して、

再度世界を認識する。社会を知る。そこから自分の生活をその視点で見つめてみる。というこれまでの単元との転換が理想でした……が。

- ・漢文を漢文として学ぶ前に、社会でも多用される現代に生きる言葉を認識し、その後漢文に出会うことで、紀元前の中国の叡智と、それを理解し、伝えようとした1500年前の日本人の「訓読」の価値にせまることをねらった。

私が検討する故事成語十のものがな	現在どんな意味で使われているか
矛盾（むじゆん）	つじつまが合わないこと。（どちらかが成立するとどちらかがうそになる）
其人弗能應也。 以子之矛、陷子之楯何如。 或曰、 物無不陷也。 又譽其矛曰、吾矛之利、於 物無不陷也。	もどになった中国の故事（古い出来事） 楚人有鬻盾と矛とを賣ぐ者有り。 之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり。」と。 又、其の矛を誉めて曰はく、「吾が矛の利きこと、物に於いて陷さざる無きなり。」と。 或ひと曰はく、「子の矛を以つて、子の盾を陷さば、何如」と。其の人応ふること能はざるなり。 ↓ 原文 楚人有鬻楯與矛者。 譽之曰、吾楯之堅、莫能陷也。 又譽其矛曰、吾矛之利、於物無不陷也。 或曰、 以子之矛、陷子之楯何如。 其人弗能應也。 下し文に排載 楚の国の人で、（ ）と（ ）を（ ）者がいた。 その盾を自慢して（「私の盾の堅いこと（といったら）、（ ）はないのだ。」と。） 更に、その矛を（ ）言うには、（私）の矛の（ ）（といったら）、どんなものでも（ ）ののだ。」と。 （すると、）ある人が言うには、（ ）の矛で、あなたの盾を突いたら、（ ）の人は答えることが（ ）のである。

どんなところが、どんな事柄が「矛盾」なのか

- ・政府が、安全保障環境の厳しさを叫び、自衛隊を積極的に派遣しようとしていること

2

- ・実際は自衛官が定員割れしていて、海外に派遣する余裕などないこと

が矛盾している

『故事成語は「今に生きる言葉」なのか』について
あなたが考えたこと

岩手日報 **5** 年間における使用件数 **14** 件

「矛盾」という故事成語は、……

アサヒ 日報

岩手日報 2023年10月22日 朝刊 4頁

空自機輸送 異例の任務

邦人らイスラエルから退避

イスラエル認識活動の経緯	
10月7日	イスラエル生協ハマスとイスラエル人の戦況を報告
13日	イスラエル新首相が選挙後18日の閣内閣議を召集
14日	第17回学生委員会が選挙後のイスラエル情勢、選挙結果の是非について上野孝二に報告
16日	Cに報告された1報がアブシラ車庫の襲撃事件
17日	Cが7月8日アブシラ襲撃事件とCが1回増す。ロケット弾、無人機
18日	Dに報告された報告を基に、Cが報告した内容に基づき1回、結果を改訂。防衛省に報告を提出
23日	CがJにJがアブシラ襲撃事件が三井物産に発生し、人権問題に発展
21日	CがJにJがアブシラ襲撃事件に発展

「政治的アピール」批判も



航空自衛隊機で羽田空港に到着し、タラップを下りるイスラエルからの避難者は21日午前3時25分

[illegible]

今に生きる「故事成語」

●

記事を貼り付けよう